

「H I V陽性者の心理的支援の重要性に関する検討」  
についての研究

説明文書

## 1. 研究の背景, 意義

現在の HIV/AIDS 医療では, チーム医療の重要性への認識が広まり, 医師・薬剤師・看護師・ソーシャルワーカー・心理士等, それぞれの専門性を活かしながら協働し, 支援を行う試みがなされております。また, HAART 療法の進歩により, HIV 感染を抱えながら生きることに伴う心理的な意味は, 従来から大きく変わってきています。

HIV 陽性者の方がどのような心の悩みを抱えていらっしゃるのか, それに対して臨床心理士をはじめカウンセラーのおこなう HIV 陽性者への心理的支援はどのようなものであるべきかについて, 新たな検討が待たれるところです。

## 2. 研究の目的

本研究は, HIV 陽性者の方に試行的なカウンセリングを受けていただき, そこでの体験や経過をもとに, カウンセラーの心理的な支援がどのように働くのか, どのような課題があるのかを探索し, そこから得られた知見を, HIV 陽性者の方たちへのより有益な心理的支援につなげようとするものです。

## 3. 研究の方法

①この研究へのご協力をお願いしている方 (以下の条件に全て当てはまる方)

- 1) HIV 陽性者の方
  - 2) 京都市近郊にお住まいで京都大学吉田キャンパス(京都市左京区)まで通える方
  - 3) 以下の a~d の条件のいずれにも当てはまらない方
    - a 未成年の方
    - b 同意が得られなかった方、病状などにより十分な同意能力を持たない方
    - c 現在, 心理療法を受けている最中の方
    - d 現在, 精神科受診中で、精神科主治医の同意が得られなかった方
- ※性別は問いません

②研究のスケジュール

次の 1) 試行的カウンセリング および 2) インタビュー面接 の両方に参加していただきます。

### 1) 試行的カウンセリング

期間; 2016年7月~2017年3月のうち連続した6カ月間

場所; 京都大学吉田キャンパス内の面接室

方法; 週1回50分のカウンセリングを, 合計25回, 約6か月間継続して体験していただきます。このカウンセリングは, 資格取得後5年以上の経験をつんだ臨床心理士が担当し, 実際におこなわれているカウンセリングとまったく同等のものが, 責任をもって提供されます。カウンセリングには料金をお支払いいただく必要はありません。

カウンセリング経過の中で, 以下のとおりアンケートへの回答や契約更新等の手続きをお願いすることがあります。

初回：

カウンセリング開始 15 分前に所定の場所に来ていただき、住所、家族構成、教育歴など、あなたご自身のことに関して、プロフィールシートに記入していただきます。

また、カウンセリングの途中で投映描画法（絵を描くことによる心理アセスメント）を体験していただきます。

5回目終了時：

カウンセリング継続に同意されるかどうか決めて頂きます。同意される場合には、同意書（更新用）を記入していただきます。

14 回目：

カウンセリングの途中で、投映描画法を体験していただきます。

15 回目終了時：

引き続きカウンセリング継続に同意されるかどうか決めて頂きます。同意される場合には、同意書（更新用）に記入していただきます。

24 回目：

カウンセリングの途中で、投映描画法を体験していただきます。

25 回目：

試行的カウンセリング全体を通しての体験、感想等について、お聞きします。

なお、カウンセリング継続に同意されなかった場合も、次に記す「インタビュー面接」には、直後の回への参加をお誘いいたします。もちろんその場合も、参加は、あなたの自由な意志によるものであり、参加しなくても何ら不利益を被るものではありません。

## 2) インタビュー面接

期間：試行的カウンセリング参加のあいだに合計 3 回

場所：京都大学 吉田キャンパス内の面接室

方法：試行的カウンセリングとは別の日時に設定され、別担当者によっておこなわれます。心理状態や自己イメージなどに関する質問紙にお答えいただくほか、口頭でのインタビューに答えていただきます。1 回あたりの所要時間は、書類への記入などを含めて 3 時間以内です。

第 1 回：カウンセリング開始前

試行的カウンセリングがスタートする前におこなわれ、本研究参加全体を通じた初回となります。本研究に関する説明をさせていただき、納得いただければ同意に記入していただきます。その後、心理状態や自己イメージに関するアンケートにご回答いただき、また、カウンセリングに対する意識やこれまでの体験の有無などに関して、インタビューを行います。

終了後には、交通費を含めた謝礼のお支払方法等の事務手続きをいたします。

第 2 回：カウンセリング 15 回目終了後

心理状態や自己イメージに関するアンケートに回答していただきます。

また、交通費を含めた謝礼のお支払いのための事務手続きをおこないます。

第 3 回：カウンセリング 25 回目終了後

心理状態や自己イメージに関する質問紙に回答していただくほか、25 回のカウンセリングでの体験に関して、インタビューに答えていただきます。

また、本研究に関するご意見やご感想をお聞きいたします。

交通費を含めた謝礼のお支払いのための事務手続きをおこないます。

#### 4. 参加に伴い守っていただきたい事項

本調査は、本研究の趣旨にご賛同いただいた HIV 陽性の方にご協力をお願いしております。みなさまのご協力をもって調査されるため、本調査協力で知り得た情報は他に漏らすことはないようご注意ください。

#### 5. 謝礼や費用など

インタビュー面接への参加に対して、1 回あたり 4500 円の謝礼(交通費込み)をお支払させていただきます。事務手続き上、後日振込によるお支払いとなりますこと、ご了解ください。試行的カウンセリングへ参加する際の交通費は、各自でご負担ください。

#### 6. 調査への参加と撤回

調査に関する説明を十分に受け、疑問点等を明らかにしたうえで、この調査に参加されるかどうかを、ご自身の意志で自由にお決めください。たとえ参加されなくても、一切の不利益を被ることはありません。

参加される場合は、同意書にご記入いただきます。いったん調査協力を同意し参加した後も、同意撤回書の提出により、いつでも途中で参加を取りやめることができます。また、調査の途中や終了後であっても、同意撤回書の提出によりデータ等の撤回を申し出ることができます。ただし、すでに論文執筆したり学会発表したりした後には、取りやめることが出来ませんのでご了承ください。

#### 7. 担当者と職業倫理

- ・試行的カウンセリングは、資格取得後5年以上の臨床心理士が担当いたします。
- ・インタビュー面接は、資格取得後5年以上の臨床心理士、もしくは臨床心理士養成大学院在籍中の者が有資格者の指導の下で行います。
- ・いずれの場合も、臨床心理士資格認定協会の定める「臨床心理士倫理綱領」および日本心理臨床学会の定める「倫理綱領」に従って実施いたします。

#### 8. この研究中にあなたの健康に被害が生じる可能性について

あなたのお気持ちやお考えを伺うことを中心に行いますので、身体への直接的な影響はないと考えております。いろいろなこととお話しになり、あなたの心理的な落ち込みや混乱が生じる可能性があります。そのような場合には、決してご無理をなさらず担当者にお伝えください。

#### 9. 調査の中止

以下のような場合、あなたに調査協力継続の意思があっても、面接担当者および本研究責任者の判断で中止させていただくことがあります。調査にご協力いただいている間は、面接担当者および本研究責任者が、あなたの心身の状態に細心の注意を払い、緊急時にはあなたのかかりつけの病院もしくは京都大学医学部附属病院に連絡します。(それ以外は連絡をとることはございません。)

- ・この研究の参加できる条件に合わないことがわかったとき
- ・病気の状態により治療を優先させる・もしくは内科などにご入院の必要があるとき
- ・気分の変化などにより、日常生活に支障をきたすようなとき
- ・この研究全体が中止になったとき

## 10. プライバシーの保護

- ・試行的カウンセリングで担当者にお話しになられた個人的な具体的内容は、担当者以外には知り得ることはありません。ただし、リスク管理や危機介入が必要だと担当者が判断した場合は、この限りではありません。
- ・試行的カウンセリングとインタビュー面接であなたから得られたデータには、ランダムなIDが付与されて扱われ、データとID対応表は別々に保管されます。
- ・試行的カウンセリングおよび個別調査面接で得られたデータを、研究チーム内で共有したり分析したりする際には、あなた個人の特定に結びつくような情報は一切匿名化されたうえでおこなわれます。
- ・この研究の成果は、学会発表や学術論文として公表されることもありますが、いずれの場合もあなた個人の特定に結びつくような情報は一切公表されません。
- ・この研究で得られたデータが、本研究の目的以外に使用されることはありません。もし将来、この研究で得られたデータを他の研究に用いる場合には、改めて倫理審査委員会の承認を受けるとともに、その研究に関する情報をあなたに開示し、データ使用に関する許諾を改めて相談させていただきます。

## 11. この研究に係る資金源ならびに関連機関との関わり

研究における、利益相反とは「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器会社から研究者に提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権などがこれに当たります。

この研究は、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究」の一環で行われますため、利益相反にはあたりません。京都大学の利益相反委員会へ申告し、利益相反は適正に管理されています。

## 12. 研究終了後の結果の取り扱い

本研究の結果が特許権等の知的財産を生み出す可能性があります。研究への協力をいただいた皆様のものではありません。

## 13. データの保存および使用方法ならびに保存期間

ご記入いただいたプロフィールシートや描画、アンケート、面接の記録は、施錠できる保管庫にこの研究責任者の管理の下、保管されます。また、保存期間は、この調査に関する最終論文発表日から10年としております。その後は研究責任者の管理の下で、プライバシー保護には十分に留意し、医療カルテの廃棄方法に準じ、機密性を保って破棄いたします。

## 14. 倫理委員会

本研究は、研究計画の段階で「京都大学心の先端研究ユニット・研究倫理審査委員会」の審査を受け、研究に参加される方のプライバシーの保護および安全性・科学性について問題がないか審査を受け、承認を得ております。

ご協力いただく際に、ご希望がございましたら、研究の計画や研究方法に関する資料を閲覧することができますので、お申し出ください。

これまでの説明の中で、わからないこと、説明してほしいことがありましたら、どんなことでも質問してください。そして、この研究の内容をよく理解していただき、十分検討してから研究の参加を決めてください。研究に参加していただけるようでしたら、同意書にご記入ください。

## 15. 研究に関する問い合わせ先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なく担当者にご相談ください。また、本研究の責任者は以下の通りです。

研究責任者：大山泰宏

職名：京都大学大学院教育学研究科 准教授

〒606-8501

京都市左京区吉田本町

Email: info-creative-vision@educ.kyoto-u.ac.jp

この研究は、下記の研究班に属して行われております。

「HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究」

研究班班長：白阪琢磨

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター  
HIV/AIDS 先端医療開発センター長)